

中学生向け
年 組

日光明峰高と全国3校



旧谷中村や足尾銅山に関する学習の成果を発表する日光明峰高の生徒

日光明峰高の生徒は強制廃村となった栃木市の旧谷中村跡、足尾の精錬所跡などへのフィールドワークの成果を報告。公害の影響と田中正造の足跡を説明しつつ、煙害を克服した製錬技術の誕生にも触れ「足尾には光と影があり、日本の環境問題の出発点であると同時に、先進技術のスタート地点でもあった」などとプレゼンテーションした。同校の発表に対しては遼摩高の生徒から「実際に訪問してみても、訪問前と印象が変わったか」と質問があったほか、日光明峰高の生徒も新居浜南高にある「ユネスコ部」の具体的な活動

※記事は解答を考えてもらう意図から一部加工しています。

設 問

【1】記事を読んだり、今までの学習を振り返ったりしながら、以下の表の空欄に当てはまる語句を答えましょう。

鉱山遺構	鉱山の場所 ※現在の県	ビデオ会議で 報告した高校
足尾銅山	栃木県	県立日光明峰高校
佐渡金山	(③)	県立(⑤)学校
(①) 銀山	(④)	県立(⑥)高校
(②) 銅山	愛媛県	県立(⑦)高校

【2】栃木県立日光明峰高校の生徒が、足尾銅山について説明や報告をした内容は次のうちどれですか。一つとは限らないので、当てはまるものすべての記号を答えましょう。

- ア 足尾の精錬所跡などへのフィールドワークの成果
イ 強制廃村となった小山市の旧谷中村跡
ウ 水害を克服した精錬技術の誕生
エ 公害の影響と田中正造の足跡

【3】「ユネスコ部」があるのは、4校のうちど

地元の鉱山遺構
次世代継承へ

画面越し、学習成果発表

【日光】日光明峰高をはじめ、鉱山にゆかりがある全国各地域の高校生らが参加する「第1回金銀銅中生サミット」がこのほど開かれた。同校の生徒6人は独自科目「日光学」の授業で学んだ足尾銅山に関する学習成果を発表したほか、発表内容に対して互いに質問し合うなどして新潟、島根、愛媛各県の生徒と交流を深めた。

活発に議論、交流深める

ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」で行われたサミットに参加したのは同校のほか、新潟県立佐渡中等教育学校、島根県立瀬摩高、愛媛県立新居浜南高。

日光明峰高の生徒は強制廃村となった栃木市の旧谷中村跡、足尾の精錬所跡などへのフィールドワークの成果を報告。公害の影響と田中正造の足跡を説明しつつ、煙害を克服した製錬技術の誕生にも触れ「足尾には光と影があり、日本の環境問題の出発点であると同時に、先進技術のスタート地点でもあった」などとプレゼンテーションした。同校の発表に対しては遼摩高の生徒から「実際に訪問してみても、訪問前と印象が変わったか」と質問があったほか、日光明峰高の生徒も新居浜南高にある「ユネスコ部」の具体的な活動

(延藤哲史)

輩たちもぜひ続けてほしい」と振り返った。実行委事務局を担当した藤井啓太教諭(50)は「来年度に向けてさらに参加校を増やし、交流の輪を広げていきたい」と話している。

の高校ですか。また、その高校のある県の県庁所在地名を答えましょう。

【4】記事に出てきた国内の四つの鉱山遺構の中で、今年(2024年)世界文化遺産への登録が決まった鉱山遺構はどれですか。一つ答えましょう。

【5】この会議に参加した高校(高校生たち)が目的とするのは、それぞれの身近にある鉱山遺構を紹介しあうだけではないと思います。どんな目的だとあなたは考えますか。記事からキーワードとなるような言葉を探して、それを用いて説明しましょう。